

2015年12月号

横須賀小川町教会新聞No.129  
2015年12月1日発行

# 小川町の鐘

発行者 日本キリスト教団  
横須賀小川町教会  
牧師 寺田信一  
住所 横須賀市小川町7  
電話 046-822-2463  
http://ogawachurch.sakura.ne.jp

## 小川町の鐘 (第23回)

### 「あさが来た」外伝

牧師 寺田 信一

この秋から始まったNHKの連ドラ『あさが来た』。主人公のモデルになった広岡浅子の人と也については、ドラマの原案となった小説『土佐堀川』（古川智映子著、潮出版）にその多くが描かれています。ただ残念なことに、浅子が洗礼を受け、キリスト者として余生を過ごしたということが、そこにはほとんど記されていません。

夫の信五郎が亡くなった5年後（1908年）59歳になっていた浅子は東大病院で乳がんの摘出手術を受けたのですが、それが神を求める切っ掛けとなります。ある日、日本女子大学設立に尽力した校長成瀬仁蔵と女子教育について論議をした時、成瀬が「この御婆さんはどうも仕方がない、君教育してくれんか」と言って浅子を託したのが宮川経輝大阪基督教会（現日本基督教団大阪教会）牧師でした。宮川牧師は後日、浅子の家を訪ね「宗教に就ては何も知らぬあなたはこれから謙遜な生徒になって宗教を学ばなければならぬ」と諭します。すると浅子は「わが身の傲慢な事が解り、今迄の生涯が、恥ずかしくも馬鹿らしくも思はれ、改悔の念に堪へなくなりました」。

それでも教会の礼拝で聞く「罪人」という言葉に反発。なかなか信仰をもつことができません。すると日本キリスト教女子青年会（YWCA）主催の修養会に講師として来ていた山室軍平救世軍士官（＝牧師）から「この夏だけは、宗教哲学の研究をやめて、もう少し実践的な信仰をお励みになったがよいでしょう」と指導され、ブレンル中将著『聖潔之業』を贈られます。浅子はこの業と聖書だけを携え、軽井沢の別荘でこれだけを読む日々を送りました。するとある朝、突然「超然として絶対の神」に触れられる経験をし(!)、号泣してしまうのです。それ以来、浅子は祈りのひととなりますが、逆に「汚れ多き未熟の身を神にささげるのは申し訳ない」と考え、洗礼を受けるのを躊躇してしまいました。

しかし1911（明治44）年9月中旬、軽井沢を発ち東京・小石川の弟宅に滞在している内に腎臓炎に罹ります。そこへ大阪から宮川牧師が見舞いに来られ、浅子は「信仰状態を問われるままにお話ししますと、もう洗礼を受け

てもよからうから、帰ったら直ちに行く」と勧められたのでした。その言葉に導かれるようにして、医者<sup>つね</sup>の許可を得た12月、浅子は大阪に戻り、62歳で洗礼を受けるのです。

大阪教会ではクリスマスの洗礼は日曜学校の子どもや青年たちが受けることになっていましたが、浅子は「この若者たちの中に入れてください」とお願いし、日曜学校の生徒9人と共に洗礼を受けたそうです。その際、宮川牧師は9人の生徒たちのために祈った後、ついで浅子の為にこのように祈りました、「この老婦人は家のため国の事業のために苦心奮闘を続けてきました。晩年は女性の地位向上のため働いてきました。しかしそれらは世の中のことであり、六十歳になり彼女は神の道を知り、残る人生を神にささげる決心をし、今日洗礼をさずけることになりましたことをありがたく、感謝します」と。浅子が敢えて若い人たちの中で洗礼をと願ったのは、これまで築き上げて来たものをすべて神に向かって手放し、新しく神の乳飲み子として生まれ変わりたいと願ったからかも知れません。

1919（大正8）年1月14日、浅子は71歳で就眠します。葬儀は東京で21日に約千三百人、大阪で23日に約九百人が列席して執り行われ、いずれの葬儀説教も宮川牧師が担いました。その中で紹介されたかどうかは分かりませんが、浅子が最も愛した聖句は「愛する者よ、我等いま神の子たり」（使徒ヨハネ第一書3.2／大正訳）であったと伝えられています。人に甘えることのなかった女傑が、晩年にして「神の子」とされ、父なる神の御手の中で安らかに息を引き取る。そこには、怒濤の人生を歩みきった広岡浅子の、富や業績には換えられない大きな慰めがあったのです。

1919（大正8）年1月14日、浅子は71歳で就眠します。葬儀は東京で21日に約千三百人、大阪で23日に約九百人が列席して執り行われ、いずれの葬儀説教も宮川牧師が担いました。その中で紹介されたかどうかは分かりませんが、浅子が最も愛した聖句は「愛する者よ、我等いま神の子たり」（使徒ヨハネ第一書3.2／大正訳）であったと伝えられています。人に甘えることのなかった女傑が、晩年にして「神の子」とされ、父なる神の御手の中で安らかに息を引き取る。そこには、怒濤の人生を歩みきった広岡浅子の、富や業績には換えられない大きな慰めがあったのです。

でもよからうから、帰ったら直ちに行く」と勧められたのでした。その言葉に導かれるようにして、医者<sup>つね</sup>の許可を得た12月、浅子は大阪に戻り、62歳で洗礼を受けるのです。



聖書が読まれ、説教が語られ、イプオルガンの調べにのせて、皆で讃美歌を歌います。

### イベント情報

#### こどもクリスマス

二月三日（水・休）  
午後二時

第一部 クリスマスページェント

第二部 クリスマス記念礼拝

第三部 クリスマス祝会

#### キャンドルサービス

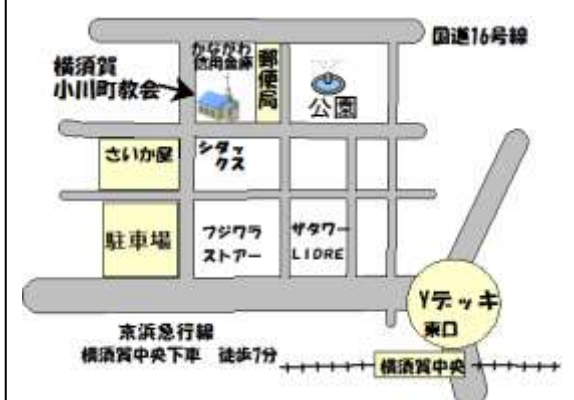
二月四日（木）

午後七時

聖書が読まれ、説教が語られ、イプオルガンの調べにのせて、皆で讃美歌を歌います。

・主日礼拝  
日曜日 午前10時30分

・教会学校  
毎週日曜日 午前九時からこどものための礼拝があります。



教会にはエレベーターが設置されています。また、身障者用トイレも整備されています。視覚障害の方には、点字聖書が用意されています。